

関西学院大学ビジネススクール(MBA)に連動したカリキュラム

# 第6期 診療所を中核とした 地域医療経営人材育成プログラム

2021年  
6月開講

地域医療を目指した  
次世代医療・介護経営人材を育成する

## 地域医療の実践的課題解決へ

～支え合うあなたの街の地域の輪～



# 地域医療を目指した次世代医療・介護経営人材を育成します。



## 開講にあたって

地域包括ケアシステムは、地域医療を大きく変えようとしています。地域医療を担う多くの医療機関、医療サービス機関は、共同しながら地域の患者さんにサービスを提供していくことになります。長年親しまれてきた診療所もこのシステムの中で重要な役割を果たしてきています。

経済産業省の産学連携サービス経営人材育成プログラムを契機として2015年度より開始された「診療所を中核とした地域医療経営人材育成プログラム」は、2021年度も新しい受講者を募集します。コロナウイルスの感染によって多くの講義がオンラインに移行しておりますが、感染が終息しても幾つかの講義はオンラインでサービスを提供します。受講の内容もより実践的で分かりやすいものになっています。皆さんの参加をお待ちしております。

関西学院大学専門職大学院 経営戦略研究科 教授 **山本 昭二**



## 受講のお勧め

地域医療の充実には、急性期から看取りまで医療を一連の時間軸で捉える必要があります。そのために欠かせないのがチーム医療です。チーム医療は医療の水準を高め患者さんの信頼性を向上させるだけでなく、業務を効率化し働く意欲を高めます。兵庫医科大学では急性期病院としての高度な技術だけでなく、多職種の揃った医療人育成研修センターでチーム医療を通じて医療安全、ノンテクニカルスキル、グループダイナミクスまで学んでいます。兵庫医科大学のこれらの優れた教育能力を本プログラムに活かしていきたいと思っています。皆さんの受講をお待ちしています。

兵庫医科大学 副学長(学部教育・内部質保証担当) 医療人育成研修センター長 **鈴木 敬一郎**

## 地域医療経営人材育成プログラム実行委員会

本プログラムは、本学で提供する経営マネジメント理論および「産学学連携」のプログラム実行委員会のもとで、医療・介護現場で地域医療の実践に役立つカリキュラムを開発し、提供いたします。

〈順不同・敬称略〉

委員長	山本 昭二	関西学院大学専門職大学院 経営戦略研究科 教授
副委員長	玉田俊平太	関西学院大学専門職大学院 経営戦略研究科 研究科長 教授
委員	佐藤 善信	関西学院大学専門職大学院 経営戦略研究科 教授
	羽室 行信	関西学院大学専門職大学院 経営戦略研究科 准教授
	太城 力良	学校法人兵庫医科大学 理事長
	鈴木敬一郎	兵庫医科大学 副学長(学部教育・内部質保証担当) 医療人育成研修センター長
	森藤ちひろ	流通科学大学 人間社会学部 教授
	大江与喜子	医療法人財団樹徳会 上ヶ原病院 理事長
	神野 正博	社会医療法人財団董仙会 恵寿総合病院 理事長
	池岡 清光	医療法人 池岡診療所 理事長 / 池岡クリニック 院長
	朝倉 寛之	医療法人愛生会 扇町レディースクリニック 理事長・院長
	尾内 俊雄	宗教法人在日本南プレスビテリアンミッション 淀川キリスト教病院 経営企画室 参与
	小澤 淑郎	公益財団法人 聖バルナバ病院 理事長
	澤谷 久枝	公益財団法人 近江兄弟社 ヴォーリズ記念病院 副理事長 事務長
	田中 孝	医療法人社団聖敬会 田中医院 理事長 / 田中消化器科クリニック 院長
	浦田 哲郎	医療法人社団 ホスピアー 理事長
	泉岡 利雄	医療法人社団宏久会 泉岡医院 理事長・院長
	北垣 幸央	北垣クリニック 院長
	上田 久之	日本クレアス税理士法人 上田公認会計士事務所 所長 公認会計士
	松村 眞吾	株式会社メディサイト 代表取締役
	榎本 真宏	榎本薬品株式会社 代表取締役社長 医師
	稲田 泰之	医療法人 悠仁会 理事長 稲田クリニック 院長
	藤本 賢二	ハクゾウメディカル株式会社 研究開発部 次長
	西本 誠	株式会社ニシイチドラッグ 代表取締役社長
	木下 輝彦	株式会社日本総合研究所 常務執行役員 リサーチ・コンサルティング部門 本部長
	井上 裕隆	株式会社STB AD 代表取締役
	朴木 健吾	株式会社池田泉州銀行 フィナンシャルアドバイザー一部長
	境田 司	株式会社神戸ポートピアホテル 取締役副総支配人 事業本部長

※所属・役職は2021年2月1日現在



## 本プログラムの目的と概要

少子多死社会が待ち受けているなか、行政が提唱する地域包括ケアシステムを実現するためには、QOLやその先のQOD向上を目指す地域医療は避けて通れない大きなテーマであります。地域医療の充実を図るためには、病院、診療所、薬局、介護施設等の連携が欠かせません。とりわけ、日頃から地域住民に一番近い身近な医療機関である診療所の経営革新ならびにサービス業としてCSの視点を取り入れたサービス品質向上が重要となります。

本プログラムは、3年間の「経済産業省産学連携サービス経営人材育成事業」で開発しました4つの科目を中心に、医療従事者としての専門技能や技術に関わる内容ではなく、「医療サービス経営」という視点から、次世代の医療・介護経営人材を育成することを目的に実施します。

本学では、既に病院経営に関する科目を設置しておりますが、本プログラムはそれらの科目をベースに、地域医療に求められる多職種連携医療・介護マネジメントスキルの習得に主眼を置いた内容で、座学&ケーススタディ方式で単位履修型のプログラムを提供します。

## プログラム構成

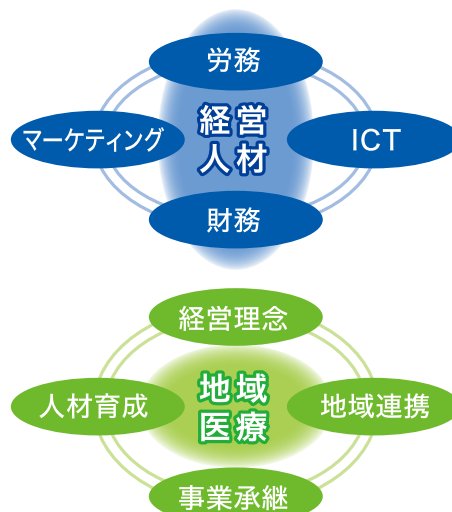
医療サービス業としての経営者の視点と地域医療実現に必要なCSR(企業の社会的責任)の視点から、本プログラムは、基礎科目と発展科目、先端科目の3つで構成されています。

基礎科目は、3時間(1講時90分の授業を2講時連続)の授業を4回、発展科目・先端科目は、原則として3時間20分(1講時100分の授業を2講時連続)の授業を7回実施します。

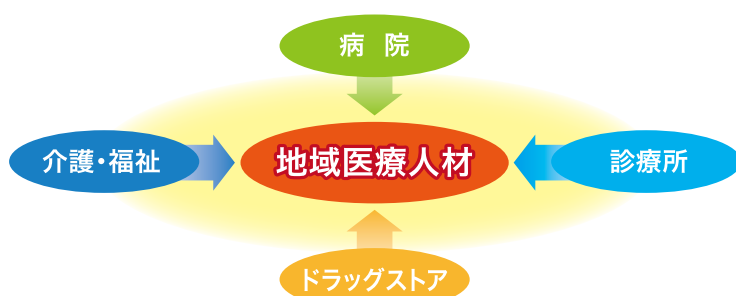
科目名		授業時間数
基礎科目	マーケティング1,2	各 12時間
	経営戦略1,2	
	会計・財務諸表	
	人的資源とキャリア開発	
発展科目	情報システム	各 23時間20分
	地域包括ケアと医療経営 ※	
	ソーシャル・マネジメント ※	
	サービス・マーケティング	
	医療経済学	
	組織管理 管理会計	
先端科目	医療機関事業承継 ※	
	医療機関事例研究 ※	

注1 ※は選択必修科目です。詳しくは「受講にあたって」をご参照ください。

注2 発展科目の履修は、1科目2単位の修得となります。



- 「経営戦略1,2」、「マーケティング1,2」、「人的資源とキャリア開発」は本学経営戦略研究科が開講する『経営戦略講座』の受講者と一緒に受講いただきます。また、「経営戦略」と「マーケティング」の1と2は同じ内容で2回実施しますので、「経営戦略」と「マーケティング」の受講を希望される方は、ご都合の良いどちらか一方を受講してください。
- 「会計・財務諸表」については、同研究科の「ハッピーキャリア・プログラム」と合同で開講します。
- 発展科目は、本学経営戦略研究科ビジネススクールの学生と一緒に受講していただきます。
- 先端科目は、「診療所に特化した事例研究」をとりあげ、より実践性の高い授業を実施します。
- 基礎科目と先端科目は、経営戦略研究科入学後、修了(学位取得)に必要な単位数には算入されません。



「2025年問題」、「保険医療2035」を見据えて、各種医療機関、各種介護・福祉施設、医療関連企業の経営者およびスタッフが目指す共通の方向性は、地域医療に精通した人材の育成です。

# 座学だけでなく、理論を学ぶと共に実践力を身につけます。

## 開講科目紹介

座学だけでなくケーススタディも多用し、理論を学ぶと共に実践力を身につけていただきます。

科目名	授業概要
マーケティング 1,2	現代のマーケティング戦略は、セグメンテーションとターゲティングを中心とした「選択と集中」戦略と、顧客とのリレーションシップを重視するリレーションシップ・マーケティングの二つの側面がある。本科目では、まずセグメンテーション、ターゲティングからポジショニングに至る道筋を平易に説明し、その後で顧客満足から顧客維持戦略に至る道筋を解説する。
経営戦略1,2	経営戦略の重要性は理解しているのだが、横文字のカタカナばかりで分かりにくい。会計や販売といったスペシャリストとしての勉強には関心があるのだが、ゼネラリストとしての経営の総合的な勉強は範囲が広すぎてモチベーションが湧かない。経営戦略の学習を、このように思っている方が多いのではないだろうか。本科目では、できる限り経営戦略を身近に感じることができるよう授業を行い、講義目的である経営戦略の「基本的な考え方や分析ツール」を、実際の企業のストーリーをまとめたケースを使用して、等身大のレベルで自由に使いこなせるようにしたいと考えている。
会計・財務諸表	キャリアアップやマネージメントに欠かせない基本的な会計知識を学び、財務諸表を読めるようにすることで経営センスを研ぐ。一般的な会計知識や財務諸表の仕組みに関する基本的知識の習得を第一の目標とし、その上で財務諸表から経営に必要な情報を抽出する手法や、財務諸表の活用方法を身につけていただく。
人的資源と キャリア開発	厳しい成果主義やリストラによる解雇など、首を切られても残ってもつらい、従業員を脅かす企業の人事労務管理。一方、育児・介護との両立支援をする、MBA取得やボランティア参加などを認める、そんな企業の人事労務管理。どちらが従業員は能力を発揮し、高い業績を残せるだろうか。この科目では、従業員がどのように動機づけられ、高度な技能を身につけ発揮するのか、そしてキャリアを築いていくのかなど、基本的な理論や概念を学習する。
情報システム	本科目の目的は、企業における情報システムの諸機能を理解し、その重要性と可能性についての洞察を得ることである。特に変化の激しい現在のビジネス環境において情報システムに求められる柔軟性を達成するためには何が必要かを理解できるようになる。さらに情報技術の中核となるプログラミングを実際に体得してもらいながら、近年のビッグデータの重要性を理解し、ビッグデータを支える諸技術についても学習する。
地域包括ケアと 医療経営※	地域包括ケアシステムは住み馴れた地域で暮らし続けることができる仕組みを地域ごとに作っていくことである。その中で医療介護の専門職の役割は大きく、具体的な参画イメージを持つことで、専門職も企業も地域住民も一体となって「くらしづくり」を進めることができるようになる。先行事例を知ることで、自分たちの地域にマッチする持続可能なビジネスプランを作っていただく。また、今後の人口減少社会の中で病院や診療所、介護保険施設などの経営戦略を考えるうえで新たな価値観を持っていただく。
ソーシャル・ マネジメント※	本科目の目的は、様々なケースの分析を通して、社会課題を理解し、その課題解決のための提案をする能力を身につけることである。ソーシャル・マネジメントには、行政と市民の協働、企業の社会化、より良い社会システムの構築のためのマネジメントの要素がある。本科目では、企業のCSRや社会貢献活動、企業の社会的役割の視点から、営利・非営利企業のソーシャル・マネジメントについて議論する。企業を取り巻く社会環境と企業活動の関連を明らかにし、企業においてソーシャル・マネジメントがなぜ必要なのか、また企業と社会がどのように関係を構築していけばよいのかについて考察する。
サービス・ マーケティング	本科目では受講生が、サービスの特質とサービスを提供する組織の抱える課題の理解からはじめて、顧客と従業員の相互作用によって起こるサービス生産までを理解し実践に活かす能力を習得することを目的とする。サービス・マーケティングはサービス業だけではなく製造企業も含めたサービスへの取り組みを理解する。
医療経済学	「医療経済学」は、英語の Health Economics の翻訳語で、健康・医療・介護にかかわる諸問題を経済学的に明らかにする学問である。本科目では、日本の課題を中心に、ときに国際的視点も含めてこの問題を考える。主に日本を素材として、健康・医療・介護に関わる経済問題を理解することを目的とする。ただし折に触れ諸外国の事情も視野におく。健康・医療・介護にかかわる制度は、各国ごとに異なるので、特に制度的な側面についての理解を深めることを主たる目的とする。日本では、健康・医療・介護にかかわる政策が頻繁に変更される。そこで時々の政策課題を取り上げそれを意識させる背景について経済学的に考える。
組織管理	企業などでの組織の経営管理に関して、組織全体のメカニズムとそのマネジメントの基本的な考え方と代表例を理解する。企業の組織は、単なる個人の集合体ではなく組織全体水準の独自な問題や現象、経営手法がある。組織文化、組織構造、ネットワーク、提携マネジメントなどの代表的な領域で、こうした組織独自の課題、現象、その管理手法を考える。こうした問題を代表的な理論概念とビジネスケースで理解する。
管理会計	民間企業でも非営利組織でも、管理会計の知識は組織のマネジメントに不可欠である。講義を通じて、受講生は意思決定や業績評価といった管理会計の基礎知識を理解することができるようになる。また、受講生は、管理会計の優劣がビジネスの成功と失敗の要因であるという視点から、管理会計の実践的役立ちを概観できるようになる。
医療機関事業承継※	診療所を運営する医師の事業承継を中心として実践的な問題を取り上げる。親族承継、他人承継の両面から、地域の「かかりつけ医」が果たす役割を都市部と地方の実情に合った形で考察する。
医療機関事例研究※	本科目は、診療所の経営において重要なトピックスとなる開業、集患、スタッフの養成といった問題を中心にして、ケース教材を使いながらその問題点を明らかにすることを目的としている。受講者は特定のテーマにしたがってグループ研究を行う。受講者は、「サービス・マーケティング」、「地域包括ケアと医療経営」を受講していることが望ましい。

※ 選択必修科目です。





## 受講にあたって

本プログラムは、令和3年度より専門実践教育訓練給付金の対象講座となりました。本制度を活用して、地域医療経営を体系的に学ばれることをお勧めします。全13科目から受講科目を選択することができます。本プログラムの受講は出願制です。

医療・介護経営マネジメント



地域医療マネジメント



地域医療・介護経営人材

### ■ 地域医療経営マネジメントを体系的に学びたい方(履修証明書取得コース)

地域医療経営マネジメントを体系的に学びたい方には、履修証明書発行のプログラム履修をお勧めします。本プログラムは、文部科学省「職業実践力育成プログラム」に認定されています。要件を満たした場合は本学より履修証明書を発行いたします。

#### 【履修証明書発行のメリット】

履歴書、経歴書等に「関西学院大学 地域医療経営人材育成プログラム履修」として記載することができます。

#### 【履修証明書発行の履修条件】

履修証明書の発行には、次の(1)(2)の両方の条件を満たすことが必要になります。

(1) 本プログラム所定の課程の総授業時間数が129時間以上であること

(2) 基礎科目と発展科目・先端科目をバランスよく履修いただくために

・基礎科目は、4科目のなかから2科目以上を履修

・発展科目・先端科目の9科目のなかから5科目以上履修で、なおかつ選択必修科目である「地域包括ケアと医療経営」「ソーシャル・マネジメント」「医療機関事業承継」「医療機関事例研究」のうちから1科目以上を履修。ただし、発展科目の受講は各学期(春学期開講・秋学期開講)につき3科目までです。



### ■ 必要な知識を学びたいと考える方(非履修証明書取得コース)

学生時代に経営マネジメント関連の授業を受けたことがなく理論をきちんと学びたい方、人事異動等で地域連携部門に移り早急に業務対応力が求められる方など、仕事上や個人のキャリアアップとして受講したい方には、受講科目を絞って受講することも可能とします。その場合、必ず、「地域包括ケアと医療経営」「ソーシャル・マネジメント」「医療機関事業承継」「医療機関事例研究」のなかから1科目以上を履修いただくことが受講条件となります。本プログラム入学後、修得した科目を増やして履修証明書発行に必要な単位に達すると履修証明書を発行します。

### ★ 関西学院大学専門職大学院経営戦略研究科(ビジネススクール)でMBAを取得されたい方

MBA取得には44単位の履修が必要です。本プログラムの発展科目は、全てビジネススクールの正規授業科目ですので、修得した単位は、学位取得に必要な単位としてカウントされます。開講スケジュールと関心のある科目を勘案しながら、2021年度で受講できそうな科目を選択いただけます。履修科目数に下限はありませんが、可能な限り履修されるのが望ましいといえます。なお、基礎科目は、学位取得に必要な単位には算入されませんが、これまで経営関連科目を学んだことがない方には、併せて履修されることをお勧めします。

### 厚生労働省教育訓練給付制度を活用した受講について

履修証明書取得コースを選択される受講生のうち、一定の条件を満たす雇用保険の被保険者(在職者)、または被保険者であった方(離職者)が、厚生労働大臣の指定する専門実践教育訓練を受講し修了した場合、本人が教育訓練施設に支払った教育訓練経費の一定の割合額(上限あり)をハローワークから支給する制度です。

本制度を活用するには、原則として受講希望者が本人の住所を管轄するハローワークにて受給資格を確認の上、必要書類をそろえ、受講開始1ヶ月前までに支給申請の手続きが必要です。

受講修了後、教育訓練施設に支払った教育訓練経費の最大70%相当(受講中50%、修了後20% 諸条件あり)が支給されます。

#### 【本制度を活用した受講条件】

・出願期間: 2021年4月16日(金)～4月30日(金)

※ハローワークに事前申請いただくため一般の受講申請より出願期間は早くなっています。

・受講科目: 必ず、基礎科目から2科目、発展科目と先端科目から選択必修科目最低1科目を含む5科目を選択いただけます。

・履修期間: 上記受講科目を必ず2022年8月までに履修を修了すること。

## 体系的に学びたい方の発展科目・先端科目の受講パターン

実践に活かせる効果的な科目履修を検討いただくにあたり、受講対象者によって発展科目と先端科目の選択は異なってきます。下記は受講パターンの例です。

受講パターン Ⅰ	受講パターン Ⅱ	受講パターン Ⅲ	受講パターン Ⅳ
<b>受講対象</b> 診療所経営者 主に医師 事務長	<b>受講対象</b> 診療所経営予定者 医師ならびに近親者	<b>受講対象</b> ・病院管理者、社会連携担当者 ・医師を含む医療関連職の管理者	<b>受講対象</b> ・地域医療関係者 ・医療機関以外の事業者(製薬、薬局、介護等)
<b>選択履修</b> ・医療経済学 ・サービス・マーケティング ・地域包括ケアと医療経営 ・医療機関事例研究	<b>選択履修</b> ・組織管理 ・サービス・マーケティング ・地域包括ケアと医療経営 ・医療機関事業承継	<b>選択履修</b> ・管理会計 ・情報システム ・ソーシャル・マネジメント ・医療機関事例研究	<b>選択履修</b> ・医療経済学 ・情報システム ・地域包括ケアと医療経営 ・ソーシャル・マネジメント
<b>履修後の期待成果</b> ・診療所の地域医療への貢献 ・従業員の福祉の増進 ・診療所のキャッシュフロー経営の向上	<b>履修後の期待成果</b> ・診療所の事業承継のための整備要件の明確化(ヒト、モノ、カネ、ノウハウのマネジメント) ・診療所の事業承継のタイプとその選択の方法を修得	<b>履修後の期待成果</b> ・地域患者のQOL・QOD向上を目指し、診療所との連携による地域医療のマネジメントスキルを修得	<b>履修後の期待成果</b> ・地域包括ケアシステムの実践構成員として事業者の関わり方とその支援のために必要な医療制度、医療ICT化を修得

# 各科目でケーススタディに重点を置いた授業を実施します。

## 各科目のシラバス(授業計画)の特長

座学だけでなく、各科目でふんだんに事例(ケース)をとりあげ、ケーススタディに重点を置いて受講者による発表とディスカッション形式で双方向の授業を実施します。

特に、本プログラム用に開設しました「地域包括ケアと医療経営」「ソーシャル・マネジメント」「医療機関事業承継」「医療機関事例研究」の4科目については、ケース提供先である医療機関に取材を行いケース教材を開発していますので、リアルケースで授業を行います。

## 各講師陣と担当科目

講師名	〈順不同・敬称略〉	担当科目
山本 昭二	関西学院大学専門職大学院 経営戦略研究科 教授	マーケティング1,2、サービス・マーケティング
佐藤 善信	関西学院大学専門職大学院 経営戦略研究科 教授	経営戦略1,2
大内 章子	関西学院大学専門職大学院 経営戦略研究科 教授	人的資源とキャリア開発
丸橋 弘明	関西学院大学専門職大学院 経営戦略研究科 非常勤講師	情報システム
西村 周三	京都大学名誉教授 京都先端科学大学 経済経営学部 教授	医療経済学
若林 直樹	京都大学経営管理大学院 教授	組織管理
森藤 ちひろ	流通科学大学人間社会学部 教授	ソーシャル・マネジメント
石井 富美	多摩大学 医療・介護ソリューション研究所 副所長 ヘルスケアビジネス経営人材育成研究所 所長 多摩大学大学院 経営情報学研究科 客員教授	地域包括ケアと医療経営
酒井 大策	常葉大学経営学部 准教授	管理会計
小出 圭一	日本クエアス税理士法人 上田公認会計士事務所 税理士	医療機関事業承継
増田 裕介	日本クエアス税理士法人 上田公認会計士事務所 税理士	医療機関事業承継
足達 正和	日本クエアス税理士法人 上田公認会計士事務所	医療機関事業承継
谷村 真理	ボラリス経営研究所 所長	会計・財務諸表
松村 眞吾	株式会社メディサイト 代表取締役	医療機関事例研究

※所属・役職は、2021年1月末現在。講師は変更になる場合もあります。最新の講師陣は、ホームページをご覧ください。

## 第1期～第5期 入学者数 93名

本プログラムを通じて、異業種・多職種の  
ディスカッション・交流の機会を提供しています。

### 受講の医療機関・企業

- 社会医療法人愛仁会本部
- 社会医療法人愛仁会 愛仁会リハビリテーション病院
- 社会医療法人愛仁会 尼崎だいまつ病院
- 社会医療法人愛仁会 高槻病院
- 社会医療法人愛仁会 千船病院
- 社会福祉法人愛和会
- 株式会社イエナガ地所
- 株式会社育星会
- 社会福祉法人石井記念愛染園  
附属愛染橋病院
- いしおか医院
- 医療法人 いずみ会 太田外科診療所
- 医療法人梅華会グループ  
エビスタうめはなこどもクリニック
- 榎本薬品株式会社
- 公益財団法人近江兄弟社  
ヴォーリス記念病院
- 公益社団法人大阪介護支援専門員協会
- 大阪市役所
- 大津市役所
- 医療法人社団 岡本医院
- オフィスルナ
- 医療法人社団 おりたクリニック
- 医療法人 警和会 大阪警察病院
- ゴウクリニック
- 医療法人弘仁会 まちだ胃腸病院
- 医療法人五條歯科医院
- 株式会社コリオン
- 株式会社コンパス
- 宗教法人在日本南ブレスピテリアンミッション  
淀川キリスト教病院
- 株式会社サエラ
- 医療法人佐々木医院
- 佐々木内科クリニック
- 社会医療法人三栄会 ツカザキ病院
- 医療法人三番町SAORI皮膚科
- 塩野義製薬株式会社
- 一般財団法人信貴山病院附属  
ハートランドしづさん看護専門学校
- シーキューブ株式会社
- 医療法人財団 樹徳会 上ヶ原病院
- 医療法人穂穂会 村田病院
- 社会医療法人 生長会 府中病院
- 公益財団法人聖バルナバ病院
- セコム医療システム株式会社
- 妹尾聡雄 税理士事務所 / 医療法人KFCG
- 医療法人武内小児科
- 武田薬品工業株式会社
- 公益財団法人田附興風会  
医学研究所 北野病院
- 医療法人適水会 つつみクリニック
- 医療法人適水会 つつみ歯科医院
- テキックス株式会社
- 社会福祉法人東大寺福祉事業団  
東大寺福祉療育病院
- 医療法人徳洲会 岸和田徳洲会病院
- 株式会社中西歯材
- 医療法人南労会
- 株式会社日建
- 社会福祉法人 博寿会  
介護老人保健施設 てんとう虫
- 株式会社パーフェクトディフェンス
- ハクゾウメディカル株式会社
- 兵庫医科大学ささやま医療センター
- 松田美南子行政書士事務所
- 三菱神戸病院
- 株式会社メディセオ
- 学校法人森ノ宮医療学園 森ノ宮医療大学
- 医療法人悠仁会 稲田クリニック
- 株式会社ユーズ
- 株式会社リクルートメディカルキャリア
- 株式会社Worldチェリー
- 医療法人 脇本産婦人科・麻酔科

### 医療・介護機関の受講者の所属部署・役職

- 医療法人理事長、副理事長、法人理事院長、副院長、理事看護部、内科部長、外科部長、画像検査課放射線技師長、経営企画室、経営広報企画室、経営管理科、事務長、地区事務長、人事部、地域医療室、地域連携課、事務部診療サービス課、医事課



## 受講者の声

〈敬称略・順不同〉



公益財団法人聖バルナバ病院  
理事長 小澤 淑郎(60歳代・男性)

現在、病院経営者としての立場から病院経営を改革して行くためには地域連携の実践・充実が非常に重要であり、いいてはこれが地域医療社会を実現して行くための重要課題であると考えている。昨今の少子化という厳しい環境下、産婦人科・小児科に特化した当院としては、医療行為をサービス業として捉え、集患力と患者満足度を一層高めるべく鋭意努力中であるが、「医療サービス経営」という視点から経営者として習得すべき理論的・形式的化した新たな理論教育を教室で学び、現場で実践するために今回の「診療所を中核とした地域医療経営人材育成プログラム」は非常に有意義であった。



いしおか医院  
院長 医学博士 石岡 英彦(40歳代・男性)

医学部卒業後、約10年間大学病院や中核病院で勤務、開業し11年が経過しました。当初10数名のスタッフが、現在30名弱となり、「経営」という問題を避けて通れない状況になりました。産業医や労働衛生コンサルタントしても活動してきたため、工場経営などは関与する機会がありましたが、「医療経営」となるとニュアンスが違った難しさを感じておりました。経営戦略や人的資源管理、地域包括医療に向けた準備など課題も多く何から手をつけたいのか見えない状況で、考え方を整理し、他の医療機関の先見的な取り組みを取り入れていきたいと考え、本コースを受講するに至りました。各講座では、基本的経営手法や先進的な事例とともにグループディスカッションが行われ、活発な議論を展開でき「医療経営」について深く取り込むことが出来ました。



医療法人五條歯科医院  
理事 五條 弘子(60歳代・女性)

2020年、新型コロナウイルスのパンデミックのなかで、当院は開業40周年を迎えました。少子高齢化で、国民皆保険制度維持と医療費削減が今後の課題となるなかで、「医食同源」の実践が目立っています。それには摂食咀嚼嚥下機能の維持が大切です。歯科口腔医療の分野においては、医学的エビデンスにより歯周病のもとらす全身疾患への影響について確認され、予防医学の見地から口腔内ケアによる健康維持と医療費削減の有効性を再認識しました。今後、医療分野のデジタルオンライン化の促進、政府による個人データの中央管理体制が強化されていきます。本講座においては、次世代の新たなビジネスモデルを模索し、時代に即した医療経営に取り組む機会となり大変有意義でした。大学院のアカデミックな場において、医療の最前線で活躍する各分野の医療従事者の発信する声が、政策に反映される事を願います。



医療法人三番町SAORI皮膚科  
副院長 兼 看護師長・事務長 戸高 理恵(40歳代・女性)

私は看護師、院長補佐から事務長への役割変更で診療所の経営に携わり、これまで学んできた医療、看護の知識や経験とは違う問題に悩んでいた時にクリニック総合情報誌で本プログラムの存在を知り説明会を聞いた際に地域医療や診療所の抱えている問題と共通していると感じ受講を決めました。基礎科目の4つは経営を学んでなくても受講生のグループで発表に向けて話しをする中で自分とは違う視点を知り新たな発見があり、発展科目では学んだ理論をもとに事例を通して自分や受講者同士の考えをまとめるのは時間になります。1科目からでも受講でき動きながら学べ、自分の職場へ還元出来る最適な環境になります。ここで知合った同期や先輩方とのつながりもこの場でしか得られない貴重なものとなっています。



医療法人弘仁会 まちだ胃腸病院  
看護師 外川 眞美子(50歳代・女性)

私は病院で看護師として地域医療の勉強をしたいと思い、願書を提出しました。講義を受講出来ると思っていましたが、withコロナでzoom授業となり58歳でパソコンと縁がなかったのですが、先生方の指導で今では困ることなく使用しています。授業は大変ですが、新しい医療やデジタル化がここまで進化して行く事を学び、医療業界の遅れによって取り残されると危惧しています。医療と関係ないと思っていたマーケティングでは分析力と解決策と効率化を学び知識不足を感じています。また、ストレス社会の中で看護師はつねにストレスを抱え仕事をしていますが、テイル組織を看護分野に取り入れられたらと講義を受けながら感じています。他職種の方々へ助けられて学べる事に感謝します。



社会福祉法人東大寺福祉事業団 東大寺福祉療育病院  
総務部主任 川口 雅嗣(40歳代・男性)

「あなた勉強してきなさい!!」という当院看護局長の言葉をきっかけにして、本プログラムの受講を開始しました。これまで、学ぶことは無縁の生活を送ってきましたが、当院事務局にて総務・経理などに携わるうち、自らの知識不足や経験不足をちょうど実感していた頃でした。会計、人材育成、マーケティング、経営戦略など基礎的な科目から「組織管理」や「医療経済学」など専門的な科目まで受講することができ、本プログラムの受講によって間違いなく視野が広がりました。講義を受講するだけではなく、それに対してレポートなどを提出する必要がある大学での学びは、苦しくもありますが、より深く知識が身に付きます。その後、2019年秋より本学IBAに進学しました。障害を持つ子供とその家族の支援を行う当院のような組織の経営について引き続き学び、考察を深めたいと考えています。



ドラッグストアチェーン  
本部人事部(40歳代・女性)

ドラッグストア・薬局業界に転職し、人材育成を担当しています。薬局業界の外部環境は国の中長期的な施策に大きな影響を受け、ビジネスモデルの大転換が迫られています。社会に貢献できるドラッグストア・薬局になるために我々は今後どうあるべきか?人材育成担当者の立場から自分なりに考えるため、業界のことを体系的に学びたいと思い、受講を決めました。本プログラムでは地域医療実現のため医療・福祉・社会のことも、人的資源管理やマーケティング、財務などビジネスの基本を合わせて学ぶことができるのが大きなメリットだと考えています。また、組織の垣根を越えたディスカッションも大変有意義な時間です。このような「将来の医療の中核を担うための学び」に参画できたことは、医療の一端を担う人材を預かる私にとって、かけがえのない財産になっています。



大阪市役所  
課長代理(50歳代)

私は1993年に関西学院大学社会学部を卒業し、大阪市役所で勤続27年目を迎えました。社会学部では福祉関連科目を履修したものの、当時はまだ福祉が仕事になるような社会ではなく、事務職員として入職しました。人事異動の中で偶然にも高齢者福祉や地域福祉など福祉業務を経験することができ、特に地域包括ケアシステム等福祉施策の企画立案に非常にやりがいを感じました。今後、福祉行政においてもセグメンテーションやブランディングなどのマーケティングの知識が必要となると考えたため、本コースの受講を開始しました。授業はオンラインとなりましたが、医療関係者や企業経営者の方々との意見交換ができ、非常に有意義な講座だと感じています。また、関学卒業生には受講料の割引制度があることも魅力の一つでした。

## 開講スケジュール

■開講期間：2021年6月～2022年8月 修了(15か月) ※最大18か月 2022年11月修了

■授業時間帯：平日(月～金) 18:30～21:30 18:30～21:50  
 土曜日 13:00～16:00 13:20～16:40 13:30～16:30  
 日曜日 13:00～16:20 16:35～19:55

基礎科目は1講時90分を2講時連続、発展科目と先端科目は1講時100分を2講時連続で授業を行います。

科目		開催日・時 (2021年6月～2022年3月)			補講
基礎科目	マーケティング1	全て木曜開催	18:30～21:30	6/17、6/24、7/1、7/8	
	経営戦略1	全て水曜開催	18:30～21:30	7/7、7/14、7/21、7/28	
	会計・財務諸表	全て火曜開催	18:30～21:30	8/3、8/10、8/24、8/31	
	人的資源とキャリア開発	全て土曜開催	13:30～16:30	12/11、12/18、1/8、1/15	
	マーケティング2	全て木曜開催	18:30～21:30	10/21、10/28、11/4、11/11	
	経営戦略2	全て土曜開催	13:00～16:00	11/13、11/20、11/27、12/4	
発展科目	地域包括ケアと医療経営	全て日曜開催	16:35～19:55	10/10、10/17、10/24、10/31、11/7、11/14、11/21	11/28
	ソーシャル・マネジメント	全て日曜開催	13:00～16:20	12/5、12/12、12/19、1/9、1/16、1/23、1/30	2/6
	サービス・マーケティング	全て火曜開催	18:30～21:50	10/5、10/12、10/19、10/26、11/2、11/9、11/16	11/23
	医療経済学	全て土曜開催	13:20～16:40	12/4、12/11、12/18、1/8、1/15、1/22、1/29	2/5
	情報システム				
	組織管理			2022年度 春学期開講で受講いただけます。	
	管理会計				
先端科目	医療機関事業承継	全て日曜開催	13:00～16:20	8/22、8/29、9/5、9/12、9/19、9/26、10/3	10/10
	医療機関事例研究	全て日曜開催	13:00～16:20	2022年 2/13、2/20、2/27、3/6、3/13、3/20、3/27	3月中オンライン

未定の科目は決定次第ホームページで公開、更新します。 ※上記日程が変更になる場合もありますので、最新情報はホームページをご覧ください。

## 募集要項

■出願資格 ●4年制大学の卒業者もしくは同等の学力を有する者で実務経験が3年以上の方

●高卒、専修・専門学校、短大卒業者で実務経験が7年以上の方  
 実務経験については業界・業種・職種を問いません。

■受講対象者

- ◎地域医療機関の従事者(病院の事務長・事務関係者、看護師、薬剤師等の医療職)
- ◎医院の経営者、開業医(医師・歯科医師)、勤務医(特に将来開業を考えている医師、歯科医師)
- ◎医療関連産業の経営者・従事者(介護関係者、薬局、製薬業(MR等)等)
- ◎地域医療に関心のある方

■受講料

履修証明書取得コース 基礎科目から2科目、発展・先端科目から選択必修科目最低1科目を含む5科目を受講 444,000円～  
 非履修証明書取得コース 1科目から受講可能 基礎科目…1科目 22,000円 発展・先端科目…1科目 80,000円

■受講者定員

各科目 15名程度

■受講方法

別紙「受講希望票」にご記入のうえ事務局宛に郵送してください。  
 後日、出願手続き(所定の願書等の提出)をしていただき、面接を経て受講者を決定します。  
 ※ ホームページに詳しい募集要項を掲載しますのでご覧ください。

## 開講場所(対面授業実施の場合)

関西学院大学 大阪梅田キャンパス

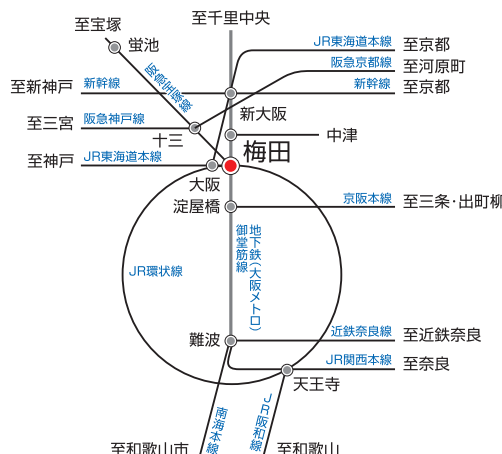
〒530-0013 大阪市北区茶屋町19-19 アプローチタワー10階・14階

大阪梅田キャンパス事務室(14階) TEL:06-6485-5611 FAX:06-6485-5612

- 阪急「大阪梅田駅」茶屋町口改札口より北へ徒歩5分
- JR「大阪駅」御堂筋出口から徒歩10分
- 大阪メトロ御堂筋線「梅田駅」から徒歩7分、「中津駅」から徒歩4分

### 【最寄り施設】

ホテル阪急インターナショナル  
 梅田芸術劇場  
 (いずれもアプローチタワー内施設)



お問い合わせ

関西学院大学専門職大学院 経営戦略研究科 地域医療経営人材育成プログラム事務局

〒662-8501 兵庫県西宮市上ヶ原一番町1-155 TEL:0798-54-6342 FAX:0798-54-6581

E-mail: servicejinzai@kwansei.ac.jp URL: http://www.kwansei-ac.jp/iba/service-jinzai



関西地域医療人材

検索